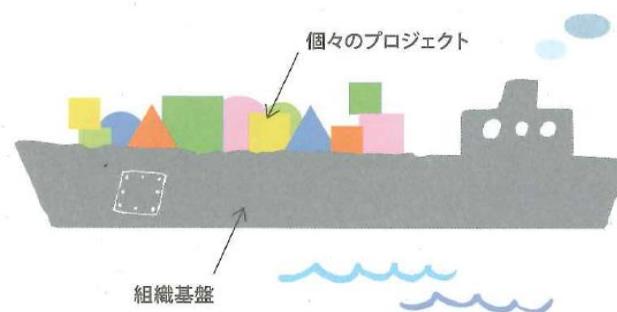


なぜキャパシティービルディング？

リーダー、プロジェクト、ネットワーク、あるいは組織が成功している場合には、新しいプロジェクトと成長のための機会が訪れます。しかしながら、こうした新たな機会を通じて、新しい技術や追加的なリソース、もしくは現在のプロジェクトや組織の運営方法の変更が求められることがあります。こうした挑戦は全てのリーダーと組織にとって一般的であり継続していくものです。挑戦は弱さの表れではなく、多くの場合健全な成長、リスクを負う覚悟、そして適応の結果です。キャパシティービルディングはこれらの機会に取り組むことを助けるとともに、キャパシティービルディングへの熱心な取り組みはリーダー、及び組織の強さに直結します。下記の図は強い組織や事業基盤がいかに成功しているプロジェクトを支えるかを説明しています。船は組織やネットワークを表し、荷物は個々のプロジェクトや活動を表します。荷物は時間と共に変わるかも知れないし、数が増えるかもしれませんが、船は強固で頑丈であり、これらの変化を支えるのに十分な程大きくなくてははいけません。私たちは荷物の中身に一番興味を抱くかもしれませんが、船に穴が空いていれば荷物が届けられることはありません。



出展：日本 NPO センター

パッカード財団のキャパシティービルディングへのアプローチ

キャパシティービルディングは多くのパッカード財団の助成に用いられている重要なアプローチです。米国内及び国際的な財団の取り組みの中で、強力なリーダー、組織、ネットワーク、そしてフィールドを築くことこそがプログラムの成功を達成する鍵となります。1983年にデビッドパッカードが設立した効率的な組織プログラム（Organizational Effectiveness）やその他様々な方法を通じてパッカード財団はキャパシティービルディングへの助成を行っています。その背景には効率的な組織（Organizational Effectiveness）プログラムが組織やネットワークが成長するための可能性や能力に助成することにより組織の運営効率が高まり、より良いプログラムの結果につながると考えているからです。これまで過去 15 年間、効率的な組織プログラム（Organizational Effectiveness）は 1000 以上の組織にキャパシティービルディングの支援を行っています。

キャパシティービルディングとは？

キャパシティービルディングは広くに以下の通り定義されます：

組織、ネットワーク、及びそのメンバーが技能、戦略、システム、体制を発展させ、改善するための支援活動



キャパシティービルディングが発展させるのは...

- **戦略**-プログラムの設計、コミュニケーション、資金調達、評価体制など
- **事業強化**-財務管理、人事管理など
- **リーダーシップ**-個人、組織、ネットワーク、社会運動の先導
- **技術的熟練**-特定のテーマ（持続可能な漁業管理等）における知識の深化
- **体制**-新しい組織設計やビジネスモデルの構築など
- **総合的な能力・成長への更なる可能性**-組織やネットワークに新しい技能やリソースをもたらす人材やチームを呼び込むことで、能力や成長への更なる可能性を与えます。



キャパシティービルディングは目標の達成を助けます

- ❖ 成功しているリーダー、組織、ネットワークには一つの共通点があります：明確な目標（ゴール）とそれを達成するための計画があるということです。これを戦略とよびます。入念に練られた戦略を通して、展望、及び目標を達成するために取り組むべき一連の活動を明確にします。
- ❖ 個人、組織、ネットワーク、また産業全体にはこれらの活動を実行するための一定の能力が必要です。
- ❖ キャパシティービルディングは個人、組織、ネットワークを強化し、戦略の実行と目標達成を可能にします。



キャパシティービルディングはどのように起こるのか？

キャパシティービルディングは様々な形態をとることができます。例えば：

- 社内外での研修
- 会議への出席
- 専門家やコンサルタントを起用し、能力、さらなる成長の可能性の向上のために特定のプロジェクトを実行する
- 集団やグループで他のリーダー陣との共同学習
- 専門家や指導者からの個別指導
- 情報や知識を獲得するための組織間の業務提携や交流事業
- 総合的な能力や更なる成長の可能性をを満たすための支援
- 技術や機能が欠けている場合、新しい機構を設立もしくは強化するための支援

キャパシティービルディングは目標を達成するためにどこに向かうのかを確認し、そこにたどり着くために必要な技術と知識を明確にします。

キャパシティービルディングのプロジェクト例

以下はキャパシティービルディングのプロジェクトがどのようなもので、組織とネットワークにどのように影響を及ぼすかを示す二つの例です。



組織的実例：戦略的な計画を通じて組織効率を高めたニパラハ（: Niparaja）

メキシコのカリフォルニア湾で地域の自然保護問題に取り組む NGO 団体ニパラハは、外部コンサルタントとの業務提携を通して新しい戦略計画を遂行するために 2013 年に効率的な組織プログラム（Organizational Effectiveness）の助成を受けました。コンサルタントは展望、任務、組織の重要な戦略を見直し、成功を測る尺度と協働するパートナーを明確にし、現在および潜在的な資金調達源を再調査することで組織を導きました。このプロセスを通してスタッフは、計画についての情報を提供し合い、組織の任務に最大限の努力を投じるようになりました。結果としてニパラハは新たな提携と資金提供者との関係の発展を支援する行動計画を手にしました。



ネットワーク的実例：保護同盟 — 持続可能な水産物に取り組むリーダー達を結びつける

水産資源解決の保護同盟（以下同盟）は NGO 団体と漁業保全及び持続可能な水産資源の問題に取り組むリーダー達を結びつけるため 2008 年に設立されました。主要な目的は組織と活動を互いに繋ぎ、衝突を最小限に抑え、団体の集团的行動と戦略的提携を強化することでした。創設以降、同盟は完全に異なる組織の集りから連携されたネットワークへと発展を遂げ、同盟が共有する持続可能な水産物の目標に関わる新たな課題に対し定期的に連絡を取り合い、集团的戦略を展開しました。その活動を通し、同盟は「環境に持続可能な水産物に対する共通の展望」、「漁業改善計画を支援するガイドライン」を含む二つの同意に基づく資料を作成しました。これは異なる組織間による協働の成果であり、またこの成果が与えた社会的な影響が、持続可能な水産資源に関する社会運動の発展に伴い、メンバー間で協働することを動機付けています。



あなたに合ったキャパシティービルディングとは？

パッカード財団は wiki というデータベースを通じてキャパシティービルディングについて情報を提供しています。もしくは、パッカード財団の以下チームまでご連絡ください。

効率的な組織（Organizational Effectiveness）・プログラムオフィサー

ジャマイカマックスウェル メールアドレス：jmaxwell@packard.org 電話：+1.650.917.7135

URL：<https://packard-foundation-oe.wikispaces.com/Welcome+to+OE%27s+Wiki%21>

日本国内でのキャパシティービルディングのプログラム例については、日本の中間支援組織、日本 NPO センターのウェブサイトをご参照ください。

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 2 番 1 号 245 新大手町ビル

電話番号：03-3510-0855

URL：<http://www.jpoc.ne.jp/>